



6市からの通報は全て私たちが受けています

あなたの危機にいち早く

千葉北西部消防指令センターをご存じですか

現在、市内からの119番通報は、市川市、松戸市など6市で共同運用している「千葉北西部消防指令センター」で一括受信し、消防車両を出動させています。これは大規模災害などへの対応や、消防力の効率運用、費用面の節減効果が期待できるため、約4年前から共同運用を実施しています。また平成32年度からの、10市による共同運用に向けた協議会が昨年8月に設置されました。今号では、さらなる指令業務、そして消防力の強化を目指す「千葉北西部消防指令センター」について紹介します。

(千葉北西部消防指令センター、消防局指令課)

千葉北西部消防指令センターの概要

- 場 所 松戸市松戸新田114-5(松戸市消防局内)
- 構成市 市川市・松戸市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・浦安市
- 職員数 48人(市川市派遣職員15人)
- 119番受付数(平成28年)
センター全体 106,487件
市川市 27,750件

市川市の災害件数(平成28年)

火災	82件
救助	325件
救急	22,195件
その他 (警戒出動、救急隊の援護など)	3,187件

お問い合わせや病院紹介などは「あんしんホットダイヤル」へ

昨年1年間の119番受付件数が、10万件を超えました。この中には、緊急性のない問い合わせや、病院紹介なども数多くあります。相談事や、夜間・休日に利用できる病院などの案内は、24時間相談できる「あんしんホットダイヤル」をご利用ください。

☎0120-241-596 言語・聴覚障害などの方 FAX0120-637-119
(市民専用、非通知設定では利用できません)

共同指令センターのメリット

大規模災害への対応

大規模災害時に集中する通報に対し、多くの職員で対応できます。また被害状況などを構成市で共有でき、国や県、関係機関との連携強化にもつながっています。



▲東日本大震災の様子

出動態勢の強化・現場到着時間の短縮

GPS機能を活用して、現場に一番近い市内の車両が出動しています。構成市の境界付近における災害に対しては、火災などが発生している市とほぼ同時に応援市にも指令がかかり、時間の短縮を図っています。



▲GPS機能で場所を特定

コスト節減

構成市で共同運用・整備することで、指令システムの購入、運用に係るコストの節減ができています。

インタビュー

婦人消防クラブ会長 安藤 千枝さん

婦人消防クラブは、地域の女性防災リーダー育成を目的に平成元年に結成された防災ボランティア団体で、防災訓練や消防出初式に参加し、身についた知識・技術を市民に広めています。共同運用は、災害時に市域を越えた出動により、迅速で効率的な対応ができると聞いて、市民としても心強く感じています。



千葉北西部消防指令センター 朝倉 和紀(市川市派遣)

インタビュー

他市の職員と連携して、1分1秒でも早く各市に指令を出すため、声を掛け合い多種多様な通報内容に対応しています。多くの通報の中に、いたずら電話をかけてくる人がいて困ることがありますが、市民の方からお礼の言葉や、「意識がない」という通報時にする口頭指導で、「言われたことをやったら意識が戻った」と言われたときには、やりがいを感じます。



聴覚や言語に障害がある方へ

本市では、聴覚や言語に障害がある方が携帯電話のインターネット接続機能を利用して119番通報を行う「Web119」を導入しています。今年5月以降には、通報者が居場所を携帯画面に映し出される地図から指定できるなど、さらに便利に、そして操作が簡単になる「NET119」の導入を予定しています(使用には登録が必要)。NET119登録説明会については、4月中に本紙でお知らせします。



▲外出先からでも今いる場所を、簡単操作で知らせます



▲Web119からの通報は、音と光で知らせてくれます

6市から10市への検討開始

平成32年度から、現在の6市に習志野市、柏市、八千代市、我孫子市の4市が加わり、10市で消防指令業務を運用開始するために協議会が設置されました。これによりさらなる消防力の強化に努めます。

☎0333-2111 消防局指令課
FAX333-8181

携帯電話での通報

●他市の指令センターへかかった場合も安心を

携帯電話で、東京都や船橋市との境界付近で通報すると、東京都や船橋市の指令センターにかかってしまうことがあります。その場合でも「千葉北西部消防指令センター」へ転送されますので、通話を切らずにお待ちください。

●建物など目標物を伝えましょう

携帯電話での通報では、GPS機能で通報場所付近を特定できますが、ある程度の誤差が生じるため、近くにある大きな建物や、お店などの目標物を伝えてください。

インタビュー

近年、社会環境の変化により、各種災害が複雑多様化し、私たち消防に求められるニーズが増大しています。このようなことから消防局では、消防指令業務の共同運用をはじめ、消防力の充実強化を図るとともに、市民のみならずの安全・安心の確保に向け、誠心誠意努力します。



消防局長
高橋 文夫

市川市から119番をかけると

市町村からの緊急通報



▲「市川市八幡1-1-1です」

住所を言う時は、他市にも同じ町名があるので、「市川市」と必ず言ってください

千葉北西部消防指令センター(一括受信)



▲「119番消防です。火事ですか。救急ですか」

各消防本部・各署所へ出動指令



▲1分1秒でも早く指令を各市へ

出動準備



▲1分以内で防火衣着装

出動



▲いち早く現場へ

活動



▲「国民の生命・身体・財産を守る」を信条に活動